

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2003-96677 (P2003-96677A)

【公開日】平成 15 年 4 月 3 日 (2003.4.3)

【出願番号】特願 2002-203845 (P2002-203845)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 6 P 1/382

C 0 9 B 62/51

D 0 6 P 1/384

D 0 6 P 3/24

【F I】

D 0 6 P 1/382

C 0 9 B 62/51 A

D 0 6 P 1/384

D 0 6 P 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 1 日 (2005.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

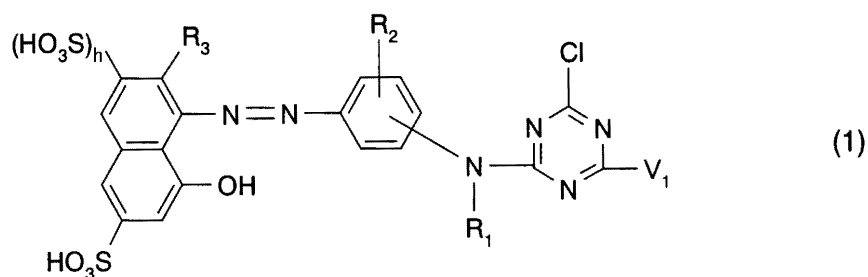
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

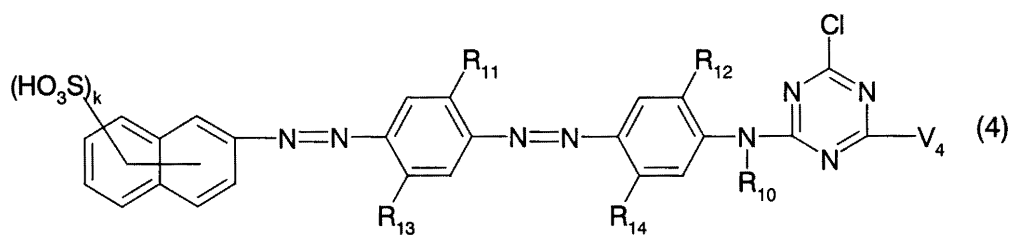
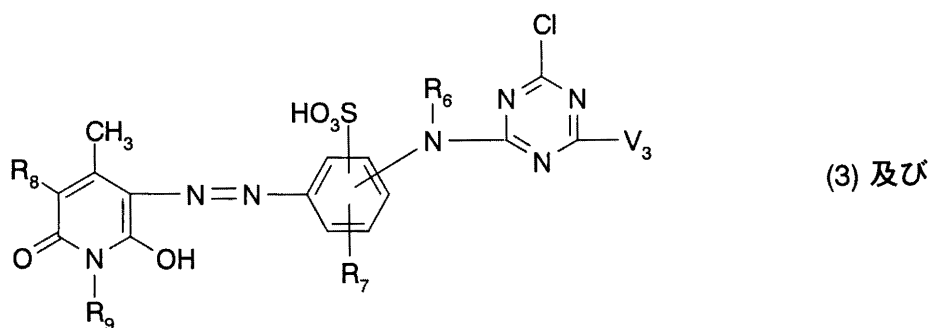
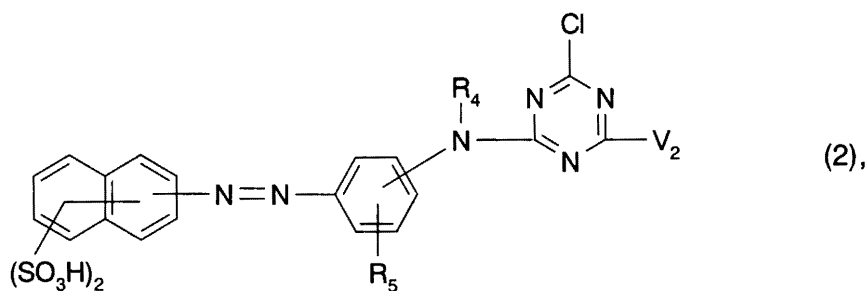
合成ポリアミド繊維材料の三色浸染または捺染の方法であって、式 (1)：

【化 1】



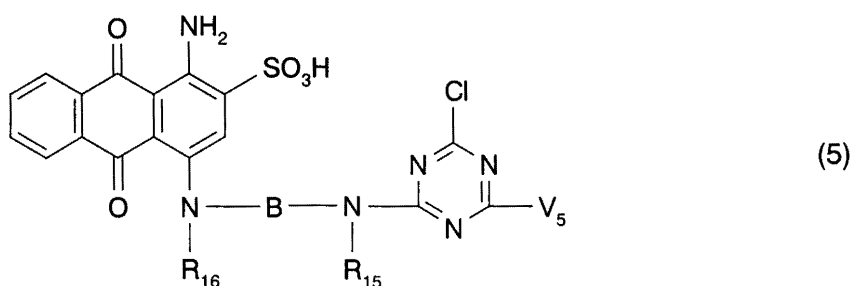
で示される少なくとも 1 種類の赤色の反応染料を、式 (2) ~ (4)：

【化 2】



で示される少なくとも 1 種類の黄色または橙色の反応染料と、式 (5) :

【化 3】



で示される少なくとも 1 種類の青色の反応染料、

〔式中、

R_1 、 R_4 、 R_6 、 R_{10} 、 R_{15} および R_{16} は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

R_2 、 R_5 、 R_7 、 R_{13} および R_{14} は、それぞれ互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_4$ アルカノイルアミノ、ウレイド、スルファモイル、ハロゲン、スルホまたはカルボキシルであり、

R_3 は、アミノ、または N - モノもしくは N , N - ジ - $C_1 \sim C_4$ アルキルアミノであり、

R_8 は、水素、スルホメチル、カルバモイルまたはシアノであり、

R_9 は、 $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

R_{11} および R_{12} は、それぞれ互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アル

コキシ、ハロゲン、スルホまたはカルボキシルであり、

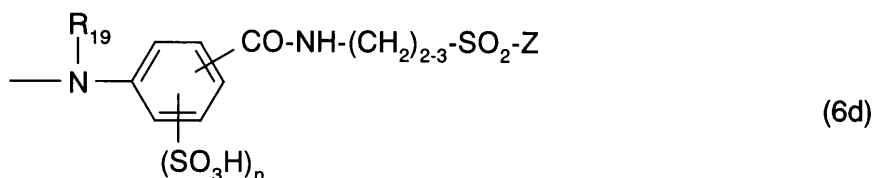
Bは、1、2または3個の-O-で中断されていてもよく、かつ非置換またはヒドロキシもしくはスルファトで置換された $C_2 \sim C_6$ アルキレン基であるか、あるいはそれぞれ非置換または $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されたシクロヘキシレン基もしくはメチレンシクロヘキシレン基であるか、あるいはそれぞれ非置換または $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、ハロゲンもしくはスルホで置換されたフェニレンもしくはメチレンフェニレンメチレン基であり、

hは、0または1の数であり、

kは、1、2または3の数であり、

V_1 は、式(6a)、(6b)、(6c)または(6d)：

【化4】



で示される基であって、

R_{17} および R_{19} は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

R_{18} は、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、ハロゲンまたはスルホであり、

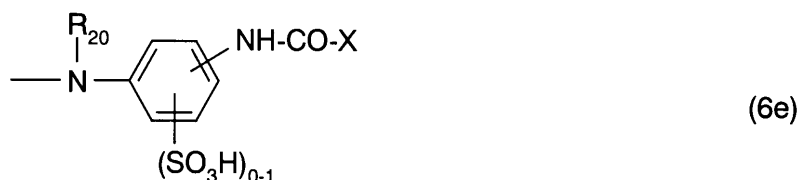
Zは、基： $-\text{CH}=\text{CH}_2$ または $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{Y}$ であり、Yは脱離基であり、

mは、0、1または2の数であり、

nは、0または1の数であり、そして

V_2 、 V_3 、 V_4 および V_5 は、それぞれ互いに独立して、上記の式(6a)、(6b)、(6c)もしくは(6d)の基、または式(6e)：

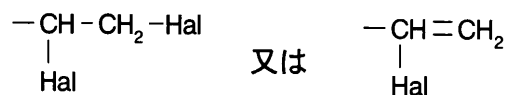
【化5】



(式中、 R_{20} は、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルであり、

Xは、基：

【化 6】



であり、Halは、臭素または塩素である）

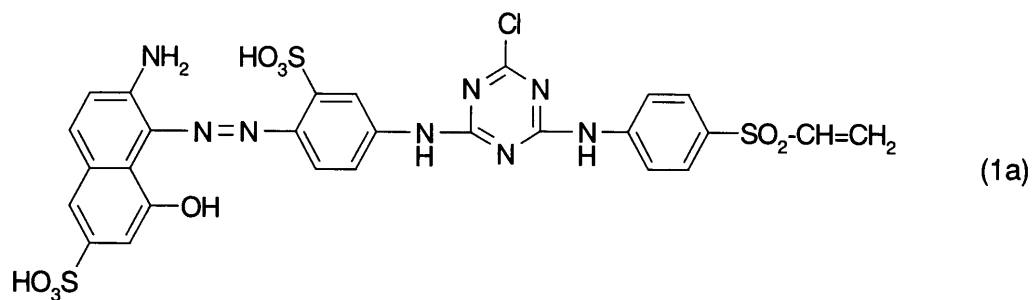
で示される基であり、

ただし、式（１）の染料は、二つのスルホ基を有するものとする）
と一緒に用いることを特徴とする方法。

【請求項 2】

式（１）の反応染料が、反応染料（１ a）：

【化 8】

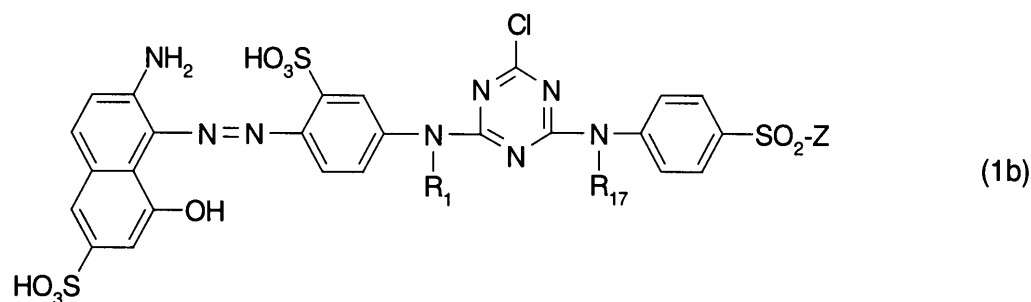


である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

式（１ b）：

【化 9】



〔式中、R₁およびR₁₇は、それぞれ互いに独立して、水素、あるいは非置換またはヒドロキシル、スルホ、スルファト、カルボキシルもしくはシアノで置換されたC₁～C₄アルキルであり、

Zは、基：-CH=CH₂または-CH₂-CH₂-Yであり、Yは脱離基である〕
で示される反応染料。

【請求項 4】

天然または合成ポリアミド繊維材料を浸染もしくは捺染するための請求項 3 記載の式（１ b）の反応染料の使用。